



〈雑録〉醤油税ノ整理ト鹽專賣法ノ撤廢

種子島, 源兵衛

(Citation)

經濟學商業學國民經濟雜誌, 12(2):332*-337

(Issue Date)

1912-02

(Resource Type)

departmental bulletin paper

(Version)

Version of Record

(URL)

<https://hdl.handle.net/20.500.14094/00051831>



businesses. The organisation of payments. Relations of speculation to business. Insurance. Inter-departmental trading. Public regulation & control, and its bearing upon organisation. Conclusion.

K. Banking.

Currency, Banking & Money market.—9 lectures by Prof. Foxwell.

Currency & Banking, descriptive & theoretical, with special reference to England.—22 lectures by Prof. Foxwell.

The Stock Exchange, the Speculative Markets, and other subjects related to price.—8 lectures by Prof. Foxwell.

L. Transport.

Railway Economics—Operating.—20 lectures by Mr. Stephenson.

Train working—Signalling—Station & Warehouse—Rolling Stock.—Hours.

Railway Economics, Commercial.—20 lectures by Mr. Stephenson.

Capital & expenditure, Gross & net receipts, Analysis of railway report, etc.

M. Librarianship.

Library History.—10 lectures by Mr. Brown.

Library Routine.—10 lectures by Mr. Brown.

Library Cataloguing.—10 lectures by Mr. Pridaux.

Classification.—10 lectures by Mr. Jast.

醬油税ノ整理ト鹽

專賣法ノ撤廢

種子島源兵衛

(一)

負擔ノ公平ハ祖税原則上最も重要視スベキモノナリ。我國現時ノ税制ハ必ズシモ公平ナラザルコトハ朝野ノ識者ノ等シク認ムル所ニシテ之レガ整理ハ一日モ忽ニスベカラザル所ナリ。所得税ノ變更、織物税、通行税及ビ鹽專賣ノ廢止ノ必要ノ如キハ既ニ世人ノ普ク了知スル所ナレ

ドモ、此以外ニ猶整理ノ餘地甚ダ多キコトヲ忘ルベカラズ。醬油稅ノ整理ノ如キ其一ナリトス。

現行法ニヨレバ醬油釀造者ニ課スル稅ニ二種アリ。其一ハ明治二十一年勅令第四十七號醬油稅則(改正、一九九年法律第六四號、三二年法律第二五號、三七年法律第七號、三九年法律第一六號)ニ依リ主トシテ營業者ニ課スルモノニシテ、其稅額諸味一石ニ付金壹圓七拾五錢ナリ。其二ハ明治三十三年法律第四十三號自家用醬油稅法(改正三七年法律第八號)ニヨリ自家用トシテ一箇年五石以下ノ醬油ヲ製造スル者ニ課スル稅ニシテ其稅額ハ一石未満製造人ニハ五拾錢、二石未満製造人ニハ壹圓、三石未満製造人ニハ貳圓、四石未満製造人ニハ參圓、五石以下製造人ニハ四圓ナリ。即チ石數ニ之レヲ割當ツレバ一石ニ付醬油稅五十錢乃至壹圓トナル割合ナリ。主稅局第三十七回統計年報書ニヨリ四十四年一月一日ニ於ケル自家用醬油製造人ノ査定區別ヲ見ルニ總人員百五十六萬九百六十七人中百五十三萬八千六百五十七人ハ

一石未満ニツキ五十錢、二萬六千人ハ二石未満ニツキ壹圓ヲ納ムルモノニシテ、貳圓、參圓、四圓ノ稅ヲ納ムルモノハ合計千七百十人ニ過ギズ。故ニ自家用醬油製造人ノ殆ンド凡テガ一石ニツキ五拾錢位ノ納稅ヲ爲セルモノト見テ可ナラン。之レヲ營業者ノ納ムル稅額ニ比スレバ其三分ノ一ニダモ及バザルナリ。

營業者ノ納ムル醬油稅ハ消費者ニ轉稼ス。而シテ營業者ノ醬油ヲ買入レテ消費スルモノハ勞働者、商工業者、小農、官吏、會社員等ナレバ此等ノ者カ一石壹圓七拾五錢ノ醬油稅ヲ負擔スル次第ナリ。然ルニ自家用醬油稅法ニヨリ一石五拾錢位ノ稅ヲ負擔シテ醬油ヲ消費スル者ハ中産以上少クトモ一年間所要ノ醬油ヲ一時ニ釀造シ得ル資力ト餘裕トヲ有スル者ナリ。斯ノ如ク此稅法ノ下ニ於テハ貧困ナル多數ノ勞働者又ハ小農工商家ハ重キ負擔ヲ爲シ富有ナル少數ノ中産以上ノ者ガ輕キ負擔ヲ爲スコト、ナル。課稅

ノ不公平亦甚シカラズヤ。故ニ吾人ハ少クトモ
 自家用醬油稅ヲ改メテ營業用醬油稅ト同一ニス
 ルノ正當ナルヲ信ズルナリ。

(一)

鹽專賣法ノ惡法タルコトハ夙ニ識者ノ唱道ス
 ル所ニシテ今更此ニ喋々スルヲ要セズ。而モ政
 府ガ猶之レヲ廢止シ得ザル所以ノモノハ財政上
 ノ收入ヲ失フヲ憂フルヲ以テナリ。財源ヲ示サ
 ズシテ稅法ノ撤廢又ハ輕減ヲ迫ルハ我國現下ノ
 事情ニ照シ或ハ無理ナル注文ナルベシ。故ニ余
 輩ハ此ニ醬油稅ヲ整理増徴シテ鹽專賣法ノ廢止
 ヲ行ハンコトヲ主張スルナリ。詳言スレバ醬油
 稅ヲ自家用タルト營業用タルト問ハズ同一率
 トナシ、且ツ共ニ其稅率ヲ引上ゲ其增收ニヨリ
 テ鹽專賣ノ廢止ニ基ク收入ノ不足ヲ補ヒ以テ鹽
 專賣法ノ廢止ヲ遂ゲ且醬油稅ノ不公平ヲ除却セ
 ントスルナリ。素ヨリ稅制ノ整理ハカ、ル局部
 的改正ニヨリ十分ノ效果ヲ期シ難カラシム、惡

稅廢止ノ應急手段トシテ一時此權宜ニ依ランコ
 トヲ主張スルナリ。

(二)

今吾人ノ主張ニツキ財政上ノ考察ヲ爲サンニ
 余ノ計算ニ依レバ、鹽專賣ヲ全廢シ醬油稅ヲ自
 家用タルト營業用タルト問ハズ、凡テ一石ニ
 付五圓ニ引上グレバ國庫ノ收支ニ大ナル不足ナ
 カルベシ。今之レヲ細說センニ、現行法ニ於ケ
 ル收入ハ歲ニヨリ多少ノ相違ナキニアザレドモ
 同時ニ歲ニヨリ著シキ相違モ亦ナケレバ最近ノ
 數字ヲ標準トシテ計數ヲ示サンニ。

醬油稅則ニ依ル醬油二、二〇
 五、五七四石ニ對スル造石稅

三、八五六、〇七七

自家用醬油稅法ニ依ル製造人一、
 五六〇、九六七人ニ對スル醬油稅

七九四、一三六

鹽專賣益金 (四四年豫算)

一〇、六七〇、〇〇〇

合 計

一五、三二〇、二二三

右ノ數字ヲ標準トシテ醬油稅ヲ兩種共ニ一石五
 圓トシ鹽專賣ヲ廢止シタル後ノ收入ヲ計算セバ

營業用醬油二、二〇五、五
七四石ニ對スル造石稅
自家用醬油七八〇、四八
三石ニ對スル造石稅

合 計

一、〇二七、八七〇
三、九〇二、四一五
一四、九三〇、二八五

即チ差引參拾八萬九千九百貳拾八圓ノ不足トナル。

以上ハ自家用製造者一家ニツキ製造高一箇年五斗トシテ計算シタルモノナリ。詳言スレバ現在ノ自家用製造者一戸平均人口ヲ五人トシ一人箇一年ノ消費量ヲ一斗トシ製成歩合ヲ實返シ（諸味一石ノ製成醬油）トセルモノナリ。カク自家用醬油製造人一家ノ製造高ヲ五斗ト推算セルハ、中流以上ノ生活ヲ爲シ多クノ雇人ヲ有シ、且不完全ナル器械ニヨル自家用醬油製造者ニトリテハ極メテ内輪ニ見積リタルモノナルノミナラズ現今自家用製造者ニハ無申告ノ者モアルベキニヨリ、調査ヲ精密ニセバ稅額ハ遙ニ前記金額ヨリモ多カルベシ。素ヨリ醬油稅ノ引上ゲニヨリ多少其消費量ヲ減少シ惹キテ收入ヲ減少セシムルニ至ルベキモ、醬油ノ如ク古クヨリ堅ク我國

人ノ嗜好ニ適シタル生活ノ必需品ニツキテハ其影響左迄大ナラザルベシ。カクノ如ク多少不定ノ要素ヲ含ムヲ以テ精確ニ斷言シ難キモ余ノ見込ニヨレバ前記ノ如ク醬油稅一石ニツキ五圓トセバ鹽專賣ヲ撤廢シ得ラル、積ナリ。

(四)

或ハ曰ハン、鹽專賣ハ撤廢セラレテ鹽價ハ非常ニ低下セラル、モ、醬油稅ガ引上ゲラル、ニ於テハ何ノ得ル所カアラント、吾人ト雖モ單ニ鹽專賣ハ撤廢セラレ而モ醬油稅ハ現今ノ稅率ニ引止メ得ラル、ナラバ喜ンデ之レニ賛成スルモノナリ。然レドモ此ノ如キハ現時ノ財政上實行容易ナラザルヲ思ヒ此權宜ニ出デントスルモノナリ。而シテカクノ如ク鹽稅ニ代フルニ醬油稅ヲ以テスベシト爲ス所以ハ又一ニ負擔ノ公平ヲ慮リタレバナリ。蓋シ醬油ノ課稅ハ製成品ニ對シテ爲スニ非ズシテ諸味ニ對シテ成スモノナリ而シテ一石ノ諸味ヨリ製造スル醬油ノ高ハ最上

品ニアリテハ六斗最下品ニアリテハ三石ナリ。
從ツテ醬油稅ヲ製成品ニツキテ觀察スレバ最上
品ハ最下品ノ六倍ノ負擔ヲ爲スコト、ナル。而
シテ各人ノ消費スル醬油ノ品質ハ通常身分ニ應
ジテ上下ノ度定マルヲ以テ、醬油稅ハ鹽稅ニ比
シ負擔ノ公平ヲ保チ得ベキコトヲ知ルベシ。勿
論品質ノ惡キ醬油ハ自然多量ニ消費セラル、傾
アレバ下級消費者モ割合ニ多クノ稅ヲ負擔スル
ガ如キモ、其影響スル所多カラズシテ未ダ上述
ノ所說ヲ覆ヘスニ足ラザルナリ。

或ハ復曰ハン。自家用醬油稅ヲ營業用醬油稅
ト同一ニスルハ中産以上(大多數中農)ノ者ノ利
益ヲ害スト。然レドモ中産以上ノ者ハ之レヲ保
護スルノ必要ナク、差別稅ヲ廢スルコトガ公平
ナルナリ。加之此醬油差別稅ノ廢止ヲ鹽專賣ノ
撤廢ト併行セバ中農以上ノ者ハ其差別稅ノ廢止
ニヨル損失ヲ他ノ方面ニ於テ補ハル、コトアル
ベシ。蓋シ農家ノ使用スル耕牛ニハ毎日食鹽ヲ

與フルヲ通常トシ其量一日三十匁位ナレバ一年
ニハ六十八斤ニ上ル。然ルニ鹽百斤ノ稅額ハ現
ニ壹圓四拾八錢ナレバ中農ハ牛一頭ニツキ一箇
年鹽稅壹圓餘ヲ要スル譯ナリ。鹽專賣ノ廢止ニ
ヨリ此負擔ヲ免ル、コトヲ得バ醬油ノ差別稅ヲ
廢スルモ農家ノ打撃多カラザルベシ。勿論農
家中ニハ牛ヲ使役セズシテ馬ヲ使役スルモノア
リ。馬ニツキテハ上述ノ事實ハ同一ニ適用セラ
レザルベキモ現ニ自家用醬油製造人ノ大多數ヲ
占ムル關西地方ニ於テハ少クモ耕作ニ牛ヲ使役
スルヲ以テ醬油差別稅ノ廢止ガ鹽專賣ノ撤廢ト
同時ニ行ハル、ナラバ、大體ニ於テ中農ニ對シ
特典廢止ニツキ自然ニ補償スル所アルベシトイ
ヒテ可ナリ。

(五)

要之醬油稅ニ負擔力ノ餘地アルコトハ當局者
モ亦認ムル所ナルガ如ク、今ヤ其稅率引上ゲノ
議スラアリト傳ヘラル。然レドモ鹽專賣法ヲ存

續シテ醬油稅ノ引上ゲヲ爲スハ無謀ノ甚シキモノニシテ吾人ノ是認スル能ハザル所ナリ。吾人ハ醬油稅ヲ引上グベシトイフハ鹽專賣法ヲ撤廢センガ爲メナリ。鹽專賣ノ撤廢行ヒ得ズンバ醬油稅ハ斷ジテ引上グベカラズ。唯自家用醬油稅ト營業用醬油稅トノ差別稅ヲ廢シテ負擔ノ公平ヲ保ツニ止ムベシ。

株式取引所改善策 (其三完結)

奥田吉郎

第六 違約處分

仲買人ニシテ受渡期間到達以前ニ於テ計算差金、諸證據金等納付セザルモノアルトキハ其仲買人ヲ違約處分ニ附シテ除名スルト共ニ左ノ處置ヲナス。

一、違約仲買人ノ有スル違約物件ハ勿論其他總テノ約定物件ナ一定ノ仲買人ニ命ジ市場ニ於テ處分セシム、

二、違約物件以外ノ物件ヲ處分セルトキ損失金ヲ生ジタルモノアルトキハ是レヲモ違約物件トス、

三、違約ヨリ生ズル損失ハ其現在取組メル相手方ノ仲買人ニ於テ左ノ賠償充當金ヲ分割ス、

(一) 違約物件ニ對スル賣買證據金

(二) 違約仲買人ノ計算ニヨル他ノ賣買ニ對スル賣買證據金及處分益金

(三) 取引所役員ニ於テ占有セル物件ノ處分金額(但シ委託ニヨルモノハ除外ス)

(四) 身元保證金

(五) 保證人ノ負擔セル保證金額

四、違約物件二種以上アルトキハ前項第二號以下ノ充當金ハ各違約物件ノ損失額ニ按分シテ賠償ニ充當ス、

五、仲買人違約シタルモノアルトキ其反對仲買人ニ於テ取引所ニ擔保ナ付セルモノアルトキハ其實買ニ對シテハ第三項ノ賠償ヨリ除外ス、

六、取引所ハ仲買人違約ニヨリ賠償シタル金額アルトキハ第三項ノ賠償ニ對シテ仲買人ト共ニ求償ノ權ヲ有ス、

七、受渡ノ際違約シタル仲買人アルトキハ其受渡物件ナ一定ノ仲買人ニ命ジテ處分セシム其損失金ハ相手方關係仲買人一同ニ於テ左ノ賠償金ヲ分割ス、